

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年8月30日

2005年8月21日、28日概況：

8月21日に終わる1週間の中頃前週に引き続き降雨があった。降雨は特に州東部に多く、EC地区の1週間の降水量は2.97インチとなった。平均気温は平年を4~5度F下回った。HRSの収穫は降雨でペースが落ちたが例年より早い進捗で、全州の56%にて完了した。8月28日に終わる週では、天候が多少改善し気温は略平年並みか多少低目であったが、晴天の日が多かった。最高気温は78~91度Fであったが、殆どが80度の後半であった。最低気温は40度後半であった。降雨は全州であった。土壌水分は改善したが東北部、東南部に“過剰”の圃場が増えた。1週間の農作業稼働日数は5.8日（前週：4.7日）であった。

HRWの作柄は病害により評価が落ちた。Scabが東南部に多発し単収を落とした。8月28日現在HRSは全州の73%にて収穫が完了した。Durum小麦は87%が登熟期以降であり、48%が収穫された。HRS及びDurumとも昨年並びに5年平均より早い生殖成長をしたが、登熟期以降の天候不順が病害を発生させ、単位収量を落とす結果となった。特に州中央から東部にScabが報告された。

8月1日付けUSDA発表のHRS及びDurum小麦の生産量予想では、HRSの単位収量は7月1日予想より3.0 bu/ac落ち38.0 bu/acとなった。Durum小麦の予想は7月1日と同じ34.0 bu/acであった。7月の高温・乾燥でHRWは登熟が早まったが単収の減少予想となった。

詳細は別表の通り。

土壌水分：2005年8月28日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	2	1	15	18
Short (%)	18	15	24	29
Adequate (%)	72	77	57	49
Surplus (%)	8	7	4	4
Subsoil				
Very short (%)	4	3	19	16
Short (%)	17	16	23	27
Adequate (%)	72	74	54	53
Surplus (%)	7	7	4	4

小麦生育状況：2005年8月28日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Turning (%)	97	92	66	92
Harvested (%)	48	32	20	39
HRS Wheat				

Harvested (%)	73	56	40	66
---------------	----	----	----	----

HRS 小麦の作柄 : 2005 年 8 月 21 現在(最終)

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	2	8	31	51	8
Last Week (%)	2	8	25	56	9

Durum 小麦の作柄状況 : 2005 年 8 月 28 日現在 :

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	1	3	18	61	17
Last Week (%)	1	23	15	63	19

Source: ND Agricultural Statistics Service

2005 年 8 月 1 日付け USDA 生産量予想 :

	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				July 1	Aug 1		
HRS	5,950	6,600	41.0	41.0	38.0	243,950	250,800
USA	13,174	13,637	43.2	43.2	40.6	568,918	553,375
Durum	1,600	1,700	33.0	34.0	34.0	52,800	57,800
USA	2,363	2,453	38.0	38.4	37.9	89,893	92,955

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com